



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	356,826	—	36,708	—	37,725	—	22,692	—
26年3月期第2四半期	286,618	22.0	32,045	15.5	30,976	35.0	17,337	8.4

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 38,116百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 32,430百万円 (105.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	37.62	37.58
26年3月期第2四半期	29.66	28.91

(注) 1. 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また3月決算の連結対象会社も12月決算に変更しております。これに伴い、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、当第2四半期連結累計期間については、従来3月決算会社であった連結対象会社は6ヶ月(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、12月決算会社である連結対象会社は9ヶ月(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
26年12月期第2四半期	640,459	—	459,975	—	61.7	—
26年3月期	620,419	—	432,152	—	60.3	—

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 395,256百万円 26年3月期 374,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
26年12月期	—	19.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	6.40	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、平成26年12月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	540,000	—	56,600	—	55,000	—	31,700	—	52.77

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、通期については、従来3月決算会社であった連結対象会社は9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)、12月決算会社である連結対象会社は12ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年12月31日)を連結対象期間とした予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

3. 平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	620,834,319 株	26年3月期	620,834,319 株
-----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期2Q	20,167,770 株	26年3月期	16,871,931 株
-----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	603,264,927 株	26年3月期2Q	584,455,625 株
-----------	---------------	----------	---------------

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、従来3月決算会社であった連結対象会社は6ヶ月（平成26年4月1日～平成26年9月30日）、12月決算会社である連結対象会社は9ヶ月（平成26年1月1日～平成26年9月30日）を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同期増減率については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、競合他社の参入や、ドル高に伴う原材料価格の上昇等がありましたが、当社商品は生活必需品であることや、新興国を中心としたパーソナルケア関連商品の普及の高まりで販売は堅調に推移いたしました。

一方、日本国内におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が想定内に留まり、継続的な高付加価値パーソナルケア関連商品の提案を実施した結果、市場は安定的に推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供し続けます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、業界総資産の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高356,826百万円、営業利益36,708百万円、経常利益37,725百万円、四半期純利益22,692百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

海外では、主要参入各国において地域の特性に合った機能を搭載した商品の販売促進に取り組み、シェアと売上の拡大に努めてまいりました。重要市場となります中国におきましては、赤ちゃんの安心、安全を願う現地のお客様が高品質な商品を求める傾向にあることから『マミーポコ』にプレミアムタイプシリーズを新発売し、インターネット販売やベビーケア専門店との取り組み強化を図りながら売上の拡大に努めてまいりました。また、普及の高まりが見込まれているインドにおきましては、引き続き販売エリアの拡大に努めてまいりました。

国内では、独自の不織布加工・成形技術を活かした赤ちゃんの肌をしめつけずに、ふんわりびたりにモレ安心の『ムーニー エアフィット』が発売から1年を迎えることから、1周年記念キャンペーンを実施し、ディズニーキャラクターのかわいいデザインと、たっぷり吸収の『マミーポコ』シリーズとともに販売促進に取り組んでまいりました。

● フェミニンケア関連商品

海外では、成長する中国市場において、若年層からデザインのかわいらしさと品質の高さに対して引き続き高いご支持を頂いているほか、新興国でも販売が拡大し業績が安定的に推移いたしました。

国内では、有職女性の増加や「肌へのやさしさ」に対するニーズの高さから、生理中の敏感肌にやさしい生理用ナプキン『ソフィ はだおmoi』から長時間交換できない時でもモレ安心な『ソフィ はだおmoi 長時間用』を新発売したほか、「香りが良いものを使いたい」というニーズにお応えして、持ち運びしやすいコンパクト形状とスタイリッシュなデザインで高いご支持を頂いている『センターイン コンパクト』シリーズに香り付きタイプ『センターイン コンパクト フレグランス』を新発売し、多様化する女性のライフスタイルに応じた新価値提案と市場の活性化に努めてまいりました。

● ヘルスケア関連商品

高齢化の進行により拡大が続くヘルスケア国内市場におきましては、女性特有のカラダの変化により「お肌のトラブル」で悩まれている女性が安心して快適に過ごせるよう「肌の負担を低減」した女性用尿ケア専用品『チャームナップ ふんわり肌』を新発売し、尿ケア専用品『ライフリー』シリーズとともに“軽い尿モレ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動に継続して取り組み、軽失禁・尿ケア市場の成長をリードしてまいりました。また、寝たきりの方の多くが使用されるテープ止めタイプに対しても「付け心地の良さ」や、「快適性」を求める傾向にあることから、体位変化や動きに応じて伸縮するテープとうす型吸収体を搭載した介護用品『ライフリーのび〜るフィット うす型軽快テープ止め』を新発売し、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて積極的な販売促進に取り組み、ヘルスケア関連商品のシェア拡大を図ってまいりました。

●クリーン&フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、住環境やライフスタイルの変化に伴い、リビング周りをいつも清潔に、家中を限られた時間の中で簡単にお掃除したいというお客様が増えている中、『シルコット ウェットティッシュ』シリーズでの「本体お試し」や、「家中まるごとこれ一本」のお掃除用ハンディワイパー『ウェーブハンディワイパー 本体』に4色のハッピーカラーを採用し、市場の活性化に努めてまいりました。

この結果、パーソナルケアの売上高は314,706百万円、セグメント利益（営業利益）は34,762百万円となりました。

②ペットケア

人とペットの豊かな共生社会の実現に向けて、ペットとオーナー様双方の健康長寿社会の実現とセグメンテーションの進化という2大テーマのもと、消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、市場の活性化と販売促進に取り組んでまいりました。

国内ペットフードでは、犬フード市場におきましては、夏季の食欲減退によるフードの切り替えが起こる時期に合わせて、食べ悩みの多い小型犬をターゲットとして味・食感・素材にこだわった4月発売の新製品『愛犬元気 グラン・デリ』シリーズのお試しパックや雑誌広告等のプロモーションを実施したほか、猫フード市場におきましては、グルメブランドの『銀のスプーン』シリーズにおいて、テレビ・雑誌広告と店頭での販売促進を連動させ、市場の活性化に努めてまいりました。

国内ペットトイレタリーでは、犬猫の生活環境を清潔に保つための排泄ケアを中核市場として設定し、既存品の定期的な商品力強化により安定的成長を進めてまいりました。また、拡大する「香り消臭ニーズ」にお応えした新製品を犬猫商品で拡充いたしました。犬の排泄ケアペットシートでは『デオシート 小型犬用 ふんわり香る消臭シート グリーンアロマの香り』を、猫の排泄ケアでは全ての猫砂とシステムトイレに使用可能な『猫トイレまくだけ 香り広がる消臭ビーズ』を上市した結果、業績は安定的に推移いたしました。

北米市場におきましては、ノミダニ駆除剤の販売強化を実施するとともに、ユニ・チャーム独自の技術を使用した香り付き犬用シートの継続的シェア拡大と香り付き猫砂の新規導入により安定的成長を実現いたしました。

この結果、ペットケアの売上高は39,529百万円、セグメント利益（営業利益）は1,839百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は2,591百万円、セグメント利益（営業利益）は107百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は前連結会計年度末に比べて20,039百万円増加し、640,459百万円となりました。主な増加は、機械装置及び運搬具（純額）11,006百万円、建物及び構築物（純額）8,607百万円、現金及び預金5,572百万円であり、主な減少は、繰延税金資産（固定）△7,370百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は前連結会計年度末に比べて7,783百万円減少し、180,483百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金2,206百万円であり、主な減少は、長期前受収益の減少等によるその他固定負債△7,939百万円、退職給付に係る負債△954百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は前連結会計年度末に比べて27,823百万円増加し、459,975百万円となりました。主な増加は、当第2四半期純利益22,692百万円、為替換算調整勘定6,347百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間における自己資本比率は61.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成26年4月30日発表と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が2,988百万円増加、退職給付に係る負債が1,194百万円減少し、利益剰余金が2,682百万円増加しております。また、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,901	114,473
受取手形及び売掛金	67,687	69,128
有価証券	3,013	999
商品及び製品	27,700	32,622
原材料及び貯蔵品	23,007	26,309
仕掛品	920	1,179
その他	34,049	27,678
貸倒引当金	△90	△93
流動資産合計	265,191	272,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,503	68,111
機械装置及び運搬具(純額)	98,629	109,635
その他(純額)	46,284	44,179
有形固定資産合計	204,417	221,926
無形固定資産		
のれん	73,463	71,511
その他	22,021	22,460
無形固定資産合計	95,485	93,972
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	860	4,540
投資有価証券	22,105	22,649
繰延税金資産	27,776	20,405
その他	4,683	4,756
貸倒引当金	△99	△91
投資その他の資産合計	55,326	52,261
固定資産合計	355,228	368,160
資産合計	620,419	640,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,433	80,640
短期借入金	7,709	27,347
未払法人税等	5,739	5,275
賞与引当金	4,763	4,352
その他	52,257	53,397
流動負債合計	148,903	171,014
固定負債		
長期借入金	21,000	—
退職給付に係る負債	4,995	4,040
その他	13,368	5,428
固定負債合計	39,364	9,469
負債合計	188,267	180,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	46,385	46,380
利益剰余金	306,974	328,323
自己株式	△21,110	△28,850
株主資本合計	348,242	361,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,058	9,858
繰延ヘッジ損益	2	11
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	21,118	27,466
退職給付に係る調整累計額	△4,128	△3,768
その他の包括利益累計額合計	25,893	33,410
新株予約権	295	261
少数株主持分	57,719	64,457
純資産合計	432,152	459,975
負債純資産合計	620,419	640,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	286,618	356,826
売上原価	158,094	199,950
売上総利益	128,523	156,875
販売費及び一般管理費	※1 96,478	※1 120,166
営業利益	32,045	36,708
営業外収益		
受取利息	706	954
受取配当金	179	188
為替差益	—	1,780
その他	1,184	1,329
営業外収益合計	2,069	4,253
営業外費用		
支払利息	163	207
売上割引	1,415	2,015
為替差損	1,442	—
デリバティブ評価損	—	720
その他	118	293
営業外費用合計	3,138	3,237
経常利益	30,976	37,725
特別利益		
固定資産売却益	5	14
移転補償金	—	4,872
その他	0	—
特別利益合計	6	4,887
特別損失		
固定資産処分損	447	221
退職給付制度改定損	121	—
その他	28	—
特別損失合計	597	221
税金等調整前四半期純利益	30,384	42,391
法人税、住民税及び事業税	6,257	8,760
法人税等調整額	3,720	5,204
法人税等合計	9,978	13,964
少数株主損益調整前四半期純利益	20,406	28,426
少数株主利益	3,068	5,733
四半期純利益	17,337	22,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,406	28,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,053	800
繰延ヘッジ損益	△208	8
為替換算調整勘定	10,178	8,505
退職給付に係る調整額	-	375
その他の包括利益合計	12,024	9,690
四半期包括利益	32,430	38,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,864	30,220
少数株主に係る四半期包括利益	4,566	7,896

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
販売運賃諸掛	14,241百万円	17,558百万円
販売促進費	41,434百万円	53,444百万円
広告宣伝費	8,657百万円	11,661百万円
従業員給与・賞与	8,458百万円	9,746百万円
賞与引当金繰入額	1,827百万円	1,798百万円
退職給付費用	701百万円	720百万円
減価償却費	1,157百万円	1,523百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	245,855	38,182	2,580	286,618	—	286,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	19	19	△19	—
計	245,855	38,182	2,600	286,637	△19	286,618
セグメント利益(営業利益)	31,443	415	169	32,028	16	32,045

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	314,706	39,529	2,591	356,826	—	356,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5	5	△5	—
計	314,706	39,529	2,596	356,832	△5	356,826
セグメント利益(営業利益)	34,762	1,839	107	36,708	0	36,708

(重要な後発事象)

株式の分割

平成26年8月8日開催の取締役会決議に基づき、平成26年10月1日付で株式の分割を実施いたしました。

(1) 株式の分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式の分割の割合及び時期

平成26年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

(3) 分割により増加した株式数

普通株式数 413,889,546株